

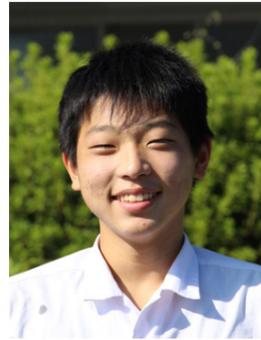
# プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校から生徒を派遣しています。広報きくち11月～3月号で参加した生徒の報告書を紹介しします。

参加報告

## 林業の視点からみるリーダー像

旭志中学校2年 岡本昂佑さん



今回、プラチナ未来人財育成塾に参加し、オンラインで講話を聞き、実際に集まってグループワークをして、とても良い経験をさせていただきました。この機会を通して強く考えたことは、リーダーについてです。講話の中で、林業についての課題などを小林靖尚先生から教えていただきました。林業は私たちの暮らしとは遠い世界で起きていることではなく、私たちの暮らしと密接に関わっているという視点で多くの話を聞いていただきました。

特に心に残ったのは、林業はライフサイクルで考えるべきだということです。これは、その時々に必要な用途に合わせて、使用できるものをバランス良く配分することが大切だということです。

例えば100本ある木材を全て建築材として使ってしまうと、燃料として使える木材がなくなってしまう、燃料として使おうと思っていた人が困ります。その逆も同じです。そのため、適切な配分をすることが大切になってきます。

この例だけで言えば、もっと多くの木材を調達すると解決できるので

はないかという声もあるかも知れません。しかし、資源は有限です。限りある資源をどう使うか考えることが大切なのではないかと思えます。

このことから、さまざまな人が暮らす世界の中で、ある一定の人の考えだけを取り入れるのではなく、さまざまな思いをきちんと把握することが大切なことだと考えました。

このような考え方は、リーダーとしてどうあるべきか考える際も重要なヒントであると思います。そう考えたのは、菊池康紀先生の講話を聞いたときでした。菊池先生は「リーダーシップとは何か」というテーマで講話してくださいました。その中で、リーダーシップがある人とはどのような人かという話が一番印象に残っています。「リーダーシップがある人」は、フォロワー、支持してくれる人を大切にできる人です。

この「支持してくれる人を大切にできる人」は、先ほどの「さまざまな思いをきちんと把握すること」と矛盾しているように思えます。もしかすると、自分を支持してくれる人だけを大切にすれば良いと考えってしまう人がいるかもしれません。

しかし、世の中にある課題は目の前で見えているものだけではありませぬ。林業でも、身近な山のことを考えることが世界の資源を守ることにつながります。そう考えると、より多くの支持してくれる人とともに問題の解決に向かう必要があると考えます。

このことから、リーダーに必要な資質とは、支持してくれる人を大切にできることに加え、支持してくれる人を増やし、共に同じ方向に向かって進んでいけることだと考えます。

今回の経験を通して、より視野を広く持ち、さまざまな課題に多くの人と取り組むことが大切だと思えました。また、身近な課題同士のつながりを考え、どんな人の考えでも受け止めて公平に接することができる人となれるよう努力することが大切だと考えます。

それを実現することが、多様な考えを尊重しながら持続可能な社会を目指すプラチナ社会実現に向けた第一歩だと考えます。



# 子ども議会

市では、中学生が模擬議会の体験を通して、市議会や行政の仕組みを理解する「子ども議会」を毎年開催しています。

【問い合わせ先】生涯学習課 ☎0968(25)7232



8月に行われた子ども議会では、緊張した面持ちで一生懸命に発言する生徒たちの姿が印象的でした

### 元気がいっぱいの子ども議員が 模擬の議会を体験

「子ども議会」とは、市内5中学校から4人ずつと議長役1人の計21人の中学生が、市議会の議場で、まちづくりに関するさまざまな質問や提案を発表し、市執行部が答弁する模擬の議会です。

生徒たちは、学校で学んだことや日頃疑問に思った事柄について、アイデアや解決策をまとめ、自らの言葉で問いかけます。

今年も8月5日に開催し、各中学校から2問ずつ、合計10問の質問がありました。真剣で若者らしく独創的な問いかけが次々と議場に響き、市長をはじめ市執行部も真正面から答弁。実際の市議会さながらの光景が広がりました。

終了後、子ども議員からは、「自分の身の回りのことを眺めることで、ふるさとを見直し、ふるさとを思う気持ちを確認できた」「他校の生徒の意見を聞くことができ、さまざまな視点を持つて意見を交換することの大切さを学んだ」「菊池市の未来のために自分たちができることに気付き、考え、そして回りの人々と協力して行動していきたい」などの感想が寄せられました。

### アイデアが実現することも

これまで、子ども議員の提案から、子どもたちへ夕方の帰宅を知らせるトランプット放送を市内全域に流したり、コロナ禍における海外の学校とのオンライン交流を実施したりするなど、市の施策として実現したものがあります。

今年も、SDGsフェスティバルの開催やホテル観賞のためのマップ作りなど、5つの提案を実現に向けて進めていくことになりました。

生徒たちの斬新なアイデアが市の施策として推進されることで、将来の子どもたちが暮らしやすい菊池市に進化していくという好循環が生まれています。

### 議長として貴重な 経験ができました



議長を務めた  
城 亜子さん  
(菊池南中学校3年)

子ども議会では、スケートボードができる環境づくりやホテルを守る活動の提案など、それぞれの学校の特徴が出た意見がありました。私も将来、菊池市のためになることができるようにもっと勉強していきたいです。